



すまいる

あすわ

「生きる力」を身に付け、たくましく未来を拓く子

学校だより10号

令和7年9月5日(金)

TEL (0776) 35-3804

FAX (0776) 35-0654

<http://www.fukui-city.ed.jp/asuwa-e/>

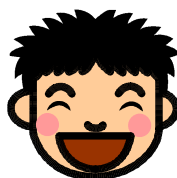
1 学期後半の学校生活がスタートしました

夏休み明けの初日、8月27日(水)の全校朝礼で、以下の話をしました。(一部抜粋)

8月7日の福井新聞に今年の6年生が実施した学習状況アンケートに関する記事が出ていました。「幸せな気持ち学力に」とあります。質問の中で「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」でよくあると答えた人、「分からないことや詳しく知りたいことがあったとき自分で学び方を考え工夫することはできている」でできていると答えた人が福井県は全国を上回っています。このことから、福井県は学力が高いと言われているますが、幸せな気持ちが前向きな姿勢を生み、学びにも積極的になって学力につながっていると言っています。

では、みなさん、学校生活の中で幸せな気持ちになるのはどんなときですか？

- ・学習や活動で、分かった、できたと感じたとき
- ・先生がほめてくれたとき
- ・友達と仲よく楽しく遊んだとき
- ・友達が自分のしたことや考えを認めてくれたとき
- ・友達が自分を助けてくれたとき などがありますね。



このようなときは、幸せな気持ちになって、がんばろうとやる気も出てきますね。

だから、先生方もみなさんが学校で幸せな気持ちになるためにはどうしたらよいか夏休み中に研修を受けて、勉強しました。これは、足羽小・湊小・東安居小・光陽中の先生方が集まって行った研修会の様子です。これは、先生方が夏休み中に受けた他の研修について、みんなに教え合っている様子です。先生方も夏休みにがんばりました。これから研修で学んだことをやっていこうと張り切っています。

でも、先生方ががんばってもダメですね。大事なのは、みなさん自身が自分や友達が幸せな気持ちになるためにはどうするとよいか考えて生活することです。そうすることで自分自身、そして友達も幸せな気持ちになり、学力だけでなく、人として立派な人になっていくと思います。みんなで幸せな気持ちになれる学級・学校をつくっていきましょう。

このことに関して、最後に1つみなさんに考えてほしいことを言います。7月26日に公民館で夏祭りがありました。たくさんの方が参加して、楽しく過ごしていました。でも、地区の人の話によると、夏祭りが終わった後、ゴミがひどかったと言っていました。捨ててはいけないところに捨ててあったり、分別されていなかったりしていたそうです。全てがみなさんのせいではないけれど、思いあたる人はいるかもしれませんね。夏祭りを準備してくださった人は幸せな気持ちになれたでしょうか？このようなことを1つとってみても、みなさんの行動で幸せな気持ちになるかならないか、変わってきます。ゴミのことだけでなく、普段の生活の中で何をするとよいか考えて行動してほしいと思います。

最近、ウェルビーイング(well-being)という言葉をよく聞くようになりました。ウェルビーイングとは、well(よい)とbeing(状態)からなる言葉で「個人や社会のよい状態」という意味です。子どもたちにとってウェルビーイングな足羽小学校・足羽地区をみんなでつくっていききたいですね。

【朝礼の話を聞いて、子どもたちが幸せな気持ちやゴミについて考えたこと】

- いやなことをされてもゆるしてあげる。まいにちえがおでいる。(1年生)
- しあわせはじぶんだけがたのしくて、おもしろいだけでなく、ほかの人もえがおでたのしそうにしているのがしあわせだと思いました。ずっとずっとしあわせでいるのが、心もあたたかい自分のままでいられると思いました。(2年生)
- いろいろなところにゴミとかをすてたら、かたづける人もたいへんだし、まずゴミをすてることはやめたほうがいいと思います。(3年生)
- ゴミがポイすてされていたことを聞いて、かんきょうに悪いし、そうじをするのは地区の人だからやめてほしいと思いました。(4年生)
- 助け合い、思いやりの気持ちをもって生活したいと思いました。相手も幸せになれるように自分からいろいろなことに取り組みたいです。(4年生)
- 夏祭りは楽しかったけれど、ゴミをゴミ箱に入れずにポイ捨てしていて、夏祭りをしてくれた人のことも考えないといけないと思いました。(5年生)
- 私が幸せだと思うことは、目標をあきらめないでがんばって達成したときです。これからは私も友達みんなも幸せだと思うことが多くなるために、小さなことでも何かしようと思いました。(6年生)

ポジティブ教育の実践

4年生において、早速、夏季研修で学んだレジリエンス(回復力)を高める授業を実施しました。「気晴らしの処方箋」をテーマに、苦しいときやつらいときに気持ちを和らげて落ち着く方法を考えました。自分がしている方法を発表し合い、友達の意見を聞いて、いいなと思う方法を取り入れようと考えました。自分で自分の気持ちを高める力をつけていってほしいです。



夏休みの作品

夏休み中に子どもたちはいろいろな課題に取り組みました。テキストを使った学習だけでなく、貯金箱やポスター、作文や習字、自由研究など、作品作りもがんばり、素晴らしい作品を仕上げてきました。夏休み中に興味・関心をもって意欲的に取り組んだことをこれからの学校生活にもいかしてほしいと思います。



2年生 ピザ作り

8月29日(金)に2年生がピザ作りをしました。食材として、生活科で育てたトマト・ピーマン・なす・枝豆を使いました。ピザ生地の上に好きな食材を並べ、フライパンで焼き上げました。自分たちで作った野菜は格別な味がして、「おいしい」と言いながらパクパクと食べていました。



教育図書いただきました

公益財団法人日本教育公務員弘済会より、教育図書の寄贈がありました。「わがしやパンダ」をはじめ、全15冊です。図書室に配置し、子どもたちの読書活動の推進に生かしていきます。

